

福島を切り拓く

自民党議員会 NEWS vol.26



令和4年10月発行



<https://www.jimin-fukushima.jp/>

令和5年度作付けまで 水を通す!

8月3日の豪雨災害からの復旧急ピッチ



災害復旧に挑む (福島県農林水産部公式 YouTube)

会津北部を中心に発生した大雨・洪水被害、農地への土砂流入や法面の崩落、山腹水路の損壊等、局所的に集中して被害が発生。
農地・農業用施設の被害は、12市町村で9,67箇所、被害額は27億3,220万円。農地や農業施設の緊急点検や被災状況確認のため、6市町村に延べ63名の県農業土木職を派遣。
第四選挙区災害対策本部長の菅家一郎衆議院議員と現地を確認する中、国

道121号大峠の山形側における崩落箇所については山形県南部より選出の鈴木憲和衆議院議員や、相田、柴田県議会議員と連携し、国の権限代行工事により11月上旬の通行止め解除の見通しがつきました。
JR濁川鉄橋の落橋については、赤字ローカル線を災害復旧等から守る議員連盟会長の佐藤信秋参議院議員と、澤野修新潟県議会議員と連携し、令和5年度春に再開通の見通しがつきました。

冬季間の国道121号とJR代行バスの運行における安全確保も徹底していきます。
早急な応急復旧に関しては、査定前着工制度を活用し、喜多方市山都町舟岡地区の揚水機場など8地区で仮・本復旧を実施し、農業用水を確保。
喜多方市山都町の山腹水路の応急仮工事のため、他管内の県農業土木職を派遣し、測量・設計を行なっています。(喜多方市・耶麻)

JR只見線が全線再開通 11年ぶり

自民党が鉄道軌道整備法改正で尽力

2011年7月の新潟・福島豪雨災害で被災し、会津川口(金山町)―只見(只見町)間で不通が続いていたJR只見線は10月1日、11年ぶりに全線再開通を果たした。
豪雨では只見川第5、第6、第7の各橋梁が流失するなど甚大な被害があった。JR東日本は当初、バス転換を主張したが、地元が鉄道存続を要望。「上下分離方式」での復旧が決定し、約4年間の工事を終え、今年7月から試運転が行われていた。
只見線の復旧を巡っては、自民党の福島県選出国會議員団会議が2014年、鉄道軌道整備法改正案の議員提出を目指すことを決定。その後、同法の改正案が衆参両院で可決・成立し、これまで対



会津地方を自転車道の聖地に

会津鉄道でサイクリング列車運行

列車に自転車に乗せて目的地まで移動できる「サイクリング列車」が、令和4年春から西若松駅―会津田島駅間で運行している。当初は予約制で土曜日と日曜日、祝日のみだったが、現在は大型連休やお盆、紅葉シーズン、年末年始の繁忙期を除き通年利用できるようになった。
それにより、駅からロードバイクやマウンテンバイクを片手に乗車し、お目当ての駅で降りれば、周辺を自転車で散策できる。沿線の自治体では、駅から二次交通の手段としてレンタルサイクルを設ける動きがあるが、自分の自転車で観光できるニーズにも応えられるのが利点です。
また、9月7日、県のスマー



サイクリング列車の運行が盛況です。

災害からの一刻も早い復旧と復興、会津の自然を生かした観光誘致と健康増進に努めます。



農林水産委員会 副委員長
江花 圭司
喜多方市塩川町東栄町一丁目10-9
TEL.0241-23-6770
FAX.0241-23-6771
E-mail:ebana@velostyle.net

企画環境委員会 副委員長
佐藤 郁雄
会津若松市材木町二丁目8-54
TEL.0242-26-3438
FAX.0242-26-3438
E-mail:ikuosato0517@gmail.com

企画環境委員会 委員
星 公正
南会津郡南会津町和泉田福場5608
TEL.0241-73-2022
FAX.0241-73-2022

自由民主党福島県議会議員会 総務会長
小林 昭一
河沼郡会津坂下町字古市乙114
TEL.0242-83-2422
FAX.0242-85-8860
E-mail:k-syoichi-kouenkai@taupe.plala.or.jp

商労文教委員会 委員長
佐藤 義憲
会津若松市大町二丁目14-14
TEL.0242-36-7015
FAX.0242-36-7016
URL:http://www.yoshinori.link

土木委員会 委員
山内 長
会津美里町永井野岩ノ神2012-2
TEL.0242-23-7533
FA.0242-23-7534
E-mail:akaru.5750_yh_yk@ezweb.ne.jp

ふくしま自民党11の約束

1 新型コロナウイルス感染症対策を強化します

- ワクチン接種の推進と新薬提供へのスピードアップ
- 検査機関・医療機関における診療・検査体制の拡大強化と医療用物資の確保など医療提供体制の整備
- 発熱外来の充実と効率的な医療提供体制の構築、今後の感染拡大を想定した病床・療養施設の確保と受け入れ体制の強化
- 基本的な感染防止対策の徹底に向けた情報発信の強化
- 経済的影響を受けた事業者への経営支援の強化と県産品の消費拡大や販売促進の取組強化
- テレワーク・リモートワークの拡大を踏まえた移住・定住の取組強化
- 園児、児童、生徒の集まる場での感染拡大防止とICTを活用した学習環境の整備促進



2 ふくしまならではの地方創生を進めます

- サービス業等の人手不足や介護・育児等の現役世代を支える分野における高齢者の就業促進
- 県内外の大学生等に対するふるさとで働くことの魅力発信と県内産業の人材確保・定着の推進
- 交流人口・関係人口の拡大と移住者等の受入体制づくりの強化
- 短期間の就労体験や地元住民とのふれあいを通じた将来的な移住・定住人口の増加に向けた取組強化
- 福島大学食農学類と連携した地域の核となる農業者等による地方創生の取組推進
- デジタル変革(DX)による県活性化



3 避難地域の復興加速化と被災者の生活再建を支援します

- 帰還希望者の居住空間の整備
- 東京2020オリパラ大会野球・ソフトボール競技開催をレガシーとした地域活性化につながる関連事業の推進
- 広域的な物流や地域医療、産業を支えるふくしま復興再生道路の整備促進
- 避難地域12市町村における特定復興再生拠点区域外の避難指示解除に向けた取組強化
- 被災した中小企業・小規模事業者の事業再開等の支援強化
- 二次救急医療をはじめとした双葉地域に必要な医療の確保



4 ふくしまの環境回復を実現します

- ALPS処理水の取扱いに関する正確でわかりやすい情報発信の強化
- 除去土壌等の県外最終処分の実施
- 県内原発の全基廃炉の早期実現
- 廃炉に関する知見の集積と本県の現状の情報発信力の強化
- イノシシなど野生動物による人的被害・農林業被害に対する総合的な対策の強化



5 子育て・健康・医療・福祉の充実と人口減少を克服します

- 福島県子どもを虐待から守る条例に基づく児童虐待の根絶に向け関係機関と連携した積極的な取組強化
- 女性活躍に関する、働き方改革等取組の促進
- 障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例の推進とヘルプマークの普及
- 18歳以下の医療費無料化の継続
- 健康長寿のための事業促進と地域・職域における効果的な保健事業の支援強化
- 福祉・看護人材不足の解消に向け、職場内研修の強化、新規採用職員への支援等様々な事業の総合的な展開



6 教育環境と次代を担う人づくりの充実を図ります

- ICTの活用等による学びの変革の推進
- 新学習指導要領に基づく教育内容の充実と英語指導力の向上
- 子どもたちの自然体験・社会体験活動への支援強化と震災の教訓の継承に関する取組の推進
- 老朽化した県立高校・特別支援学校の校舎等の大規模改修等子どもたちが安心して学べる学習環境の整備
- 福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成
- 健康マネジメント能力の育成による子どもたちの体力の向上と肥満傾向児の出現率低下に向けた取組の推進
- 「ふくしま学力調査」による児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育の推進



7 農林水産業を力強く再生します

- 福島県産品の信頼回復と競争力の強化
- 沿岸漁業の本格操業に向けた取組への支援強化とGAP・水産エコラベル等の取得支援と販路拡大
- 県産加工食品の安全性の確保と県内食品等事業者への「ふくしまHACCP」の導入推進
- 高齢化・担い手等中山間地域の課題解消に向けた取組の強化
- 福島大学食農学類と連携した本県農林水産業の再生及び成長産業化に向けた取組の推進
- 経営所得安定対策等の恒久的予算確保による農業経営の安定化
- 市町村を越えた広域的な高付加価値産地の形成による営農再開の加速化



8 中小企業等の振興を図り雇用を創出します

- コロナ禍における中小企業・小規模事業者の経営支援
- 地域を支える中小企業・小規模事業者の事業承継の課題解決に向けた取組の強化と人材の確保
- 県内企業と会津大学等との連携によるICTを活用した生産効率化システムの開発・技術導入など、先端ICT関連産業の集積
- 県内に新たな企業が生まれ着実に成長していく総合的な創業支援の強化
- 県産品振興戦略に基づく県産品の情報発信と販路拡大
- 日本一の県産日本酒の発信強化
- 県産品の積極的な輸出拡大



9 新産業の創出・集積でふくしまの復興を牽引します

- 福島イノベーション・コースト構想の中核拠点である国際教育研究拠点の早期実現
- 国、市町村、大学・研究機関、企業等の連携強化による福島イノベーション・コースト構想の推進
- AI・IoT技術を活用できる人材育成と技術の利用促進
- 医療機器開発から事業化まで企業への状況に応じた適切な支援による更なる医療関連産業の集積
- 地域と共生する再生可能エネルギー事業の立ち上げ支援と家庭や地域における導入促進
- 水素社会実現のモデル構築に向け、県内における水素ステーションの導入と燃料電池自動車の導入推進



10 観光振興と風評・風化対策を強化します

- ウィズコロナを踏まえたワーケーション、発酵ツーリズム等新しい観光の推進
- ホーパツーリズムの新たなプログラム創出など本県観光の本格的な復興に向けた取組の強化
- 地域活性化に向けた体験コンテンツの充実及び人材育成など受入体制の整備
- 福島県の観光地でしか味わえない食の磨き上げや旅行商品の造成など、食と観光を融合した誘客策の展開
- 福島空港定期路線の再開・拡充と空港のにぎわい創出、ビジネスや個人旅行での利用拡大等の各種事業の展開
- JR只見線の全線復旧を見据えた地域振興の促進



11 令和元年東日本台風・福島県沖地震からの復旧と県土の強靱化・防災力の向上を図ります

- 流域治水の考え方の普及と各級主体の連携強化
- 浜通り・中通り・会津との東西の広域ネットワークの強化
- 緊急輸送路等の整備による災害に強い道路ネットワーク構築の実現
- 防災対応体制の強化と災害時健康危機管理支援チームの設置など大規模災害に対応できる体制の整備
- 避難指示区域内における大規模火災対応訓練など県内各消防本部の消防力の向上
- 災害を「自分事」として日頃から避難行動を考える「マイ避難」の推進
- 福島県緊急水災害対策プロジェクト・阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの推進
- 感染症防止の観点を取り入れた避難所運営に対する支援の強化

